

『Mind Charging』

第 113 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 9 月 15 日

映画『ショーシャンクの空に』アンディの名言



希望はいいものだよ、多分最高のものだ。

いいものは決して滅びない。

夢・希望・理想など、人間が抱くポジティブなイメージやエネルギーなどを表す全ての感情に対して発した言葉だと思います。スポーツの世界でよく言われる『ゾーンに入る』というものは、そういったものが自分の中で最大級に充実した状態であると考えます。その中でも誰もが常に持っているものは、やはり『希望』ではないでしょうか。

挑戦が失敗に終わったり、悩みを抱えたりすると、どうしてもポジティブに考えたり振る舞うことが難しくなってしまいます。人生がうまく進んでいない、成長が止まってしまっているというような焦りも感じながら何も手につかないという状態に陥った経験がみなさんにも過去にあったかもしれません。そういう感情に襲われたとしてもひとつだけ確実に進んでいるものがあります。それは『時間』です。そして時間が進む速さは絶対に常に同じです。また、私たちが持っている“命”は有限です。そう思うと、ゼロにはできないものの、ネガティブな感情に押しつぶされている時間は極力早く切り上げたいですね。

辛い状況の時に希望を持つことなんてできないという気持ちもよくわかります。以前は私もそういったことでネガティブになったことがあります。それからは、私は常に希望を持ち、希望がかなった瞬間をイメージしながら過ごすようにしています。それでも辛い状況に陥ることがありますが、そんな時に『あの希望を途絶えさせるわけにはいかない！』と思うことによって早く前に向き直すことができます。また、希望とはポジティブな未来ということですから、そういったことをイメージすることにより、さらに新しいアイデアや叶えてみたい目標が浮かんでくるものです。ポジティブなエネルギーは人間の能力を信じられないほど引き出します。自分の中にある可能性を信じていきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

スティーブン・キングの中編「刑務所のリタ・ヘイワース」をティム・ロビンズ & モーガン・フリーマン主演で映画化した人間ドラマ。長年ショーシャンク刑務所に入っている囚人レッド(フリーマン)と無実の罪で収監された元銀行副頭取アンディ(ロビンズ)の友情を軸に、アンディが巻き起こす数々の奇跡が描かれる。監督・脚本は本作で長編映画デビューを果たしたフランク・ダラボン。94年度のアカデミー賞では作品賞を含む7部門でノミネートされたものの無冠に終わったが、映画ファンに愛される名作として語り継がれている。(映画.com 参照)